| Course no    | umber        | U-LAS70 10   | 0001 | SJ50        |       |       |               |   |            |                              |      |         |
|--------------|--------------|--|------|-------------|-------|-------|---------------|---|------------|------------------------------|------|---------|
| liand course |              | セミナー :現代社会と法<br>Seminar :Law and Contemporary<br>y |      |             | ry na | ame   | , job cicio,  | Graduate School of Human and Environmental Studies<br>Associate Professor, MIHIRA TSUKASA |            |                              |      |         |
| Group        | Seminar      | s in Liberal Arts                                  | anc  | d Sciences  | Nu    | mbe   | er of credits | 2   |            | Number<br>weekly<br>time blo |      | 1       |
| Class style  | semi<br>(Fac | nar<br>e-to-face course                            | )    | Year/sem    | ester | s     | 2024 • First  | semeste   | r          | Quota<br>(Freshma            | ın)  | 10 (10) |
| Target year  | Main         | y 1st year students                                | Eli  | gible stude | ents  | Fo    | r all majors  |   |            | ays and<br>eriods            | Tue  | .5      |
| Classroom    | 3B, Yos      | shida-South Can                                    | npus | Academic    | Cen   | ter ] | Bldg. North V | Ving  | Lar<br>ins | nguage of<br>truction        | Japa | nnese   |
| Keyword      | 法制度          | / 司法 / 社会  |      |             |       |       |               |   |            |                              |      |         |

( Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

# [Overview and purpose of the course]

現代社会は多様な問題の解決を迫られているが、法は、そのような問題の解決手段として呼び出される一方で、しばしばそうした問題を生み出す原因にもなっている。本セミナーでは、現代社会の諸問題に、現代法システムがどのように関わっており、また関わるべきかについて考察する。「社会を通して法を知る」とともに、「法を通して社会を知る」機会となるようにしたい。

## [Course objectives]

現代法システムをめぐる諸問題について、基礎的な知識と分析の視点を修得することを目標とする。

## [Course schedule and contents)]

#### 【第1回】

オリエンテーションの回として、授業の進め方や、授業の準備・報告の方法について説明する。

#### 【第2回-第14回】

各回とも、現代の法システムに関わる問題について、事前に指名された担当者の報告後、全員が参加して議論を行う形式をとる。報告にあたり、文献があらかじめ指定される場合と、報告者の自由に委ねられる場合がある。

取り上げる問題については、できるだけ幅広いものとすることを考えている。「裁判員制度」「死 刑制度」「コミュニティと法」「マイノリティと法」「科学技術と法」「表現活動と法」「裁判所 の役割」などを予定しているが、受講生の人数や背景的知識、時事的な問題状況などに応じて変更 する場合もある。

【第15回】フィードバック フィードバック方法については、別途連絡する。

Continue to ILASセミナー : 現代社会と法(2)

| [Evaluation methods and policy]<br>平常点(出席状況および討論への貢献度:50%、報告担当回のパフォーマンス:50%)により、言<br>価する。 なお、4回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。<br>[Textbooks]                                  |
|---|
| None  [Evaluation methods and policy] 平常点(出席状況および討論への貢献度:50%、報告担当回のパフォーマンス:50%)により、言価する。 なお、4回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。  [Textbooks] Instructed during class             |
| None <b>[Evaluation methods and policy]</b> 平常点(出席状況および討論への貢献度:50%、報告担当回のパフォーマンス:50%)により、言価する。 なお、4回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。 <b>[Textbooks]</b> Instructed during class |
| [Evaluation methods and policy]<br>平常点(出席状況および討論への貢献度:50%、報告担当回のパフォーマンス:50%)により、言価する。 なお、4回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。<br>[Textbooks]<br>Instructed during class           |
| 平常点(出席状況および討論への貢献度:50%、報告担当回のパフォーマンス:50%)により、言価する。 なお、4回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。 [Textbooks] Instructed during class  |
| 価する。 なお、 4 回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。<br><b>[Textbooks]</b><br>Instructed during class   |
| Instructed during class   |
|   |
| [References, etc.]  |
|   |
| ( References, etc. ) Introduced during class  |
| [Study outside of class (preparation and review)]   |
| 各回とも、指定された文献を読んだ上で、授業に臨んで下さい。また、日頃から新聞やニュースを<br>組等を通して、法・政治・社会に関する幅広い問題について知見を拡げるように心掛けて下さい。  |
| [Other information (office hours, etc.)]  |
| 文系、理系を問わず、幅広い学部からの参加を歓迎します。また、2回生以上の参加も歓迎しまで皆さんの積極的な参加をお待ちしています。  |